

## 大東町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】：令和6年9月24日（火）15:20～16:35

【会場】：大東総合センター 大会議室

【参加者数】：21人

□意見交換

### 大東地区自治振興協議会

#### 空き家対策について

少子高齢化による人口減の影響などにより、地域内でも空き家問題が顕在化し深刻な問題となっている。空き家を取り巻く事情は多岐に渡り、発生の原因も地域によって異なり空き家所有者の事情も様々である。

先日の令和6年雲南市議会9月定例会の市長施政方針においても大東町大東地区の空き家に対して略式代執行による建物の解体を行う方針が示された。引き続き行政において制度説明や研修会の開催による情報発信などを行い地域と連携し対策を行っていただきたい。

略式代執行の対象家屋周辺は通行止めにもなっており、周辺は建物が密集した地域。解体が始まると近隣との問題が出るかもしれない。安全な解体のため地元で周知していただきたい。

全市的な空き家問題を連携して対策を行ってほしい。

市長）空き家対策には大きく分けて2通りある。一つは空き家とせず流通するようにすること。もう一つは危険空き家に対して対策を行うこと。使える家は早めに使い続けることが大切。地域の方から「この家を貸せるよ」と情報をいただき、流通の仕組みに乗せていくことが必要。

もう一つ、危険空き家への対策の大原則は所有者が対処することだが、今回は対処すべき人がいないための代執行である。まずは代執行となるまでに所有者へ対応していきたい。略式代執行については国の補助制度はあるものの市の負担が伴う。同様のケースがどんどん出てくれば対応が難しい。

そうならないために、空き家法に基づく行政措置を行うことで固定資産税の優遇措置が解除されるよう定められており、そうしたものも含めて所有者の適正管理を促すよう意識や制度に対する普及啓発をしていくことが必要。地域の協力をお願いしたい。

### 春殖地区振興協議会

#### 出雲大東駅の指定管理の今後のあり方について

木次線の利活用、駅前地区の賑わい創出のため駅前・飯田地区と連携した活動展開の出来る指定管理者を望んでいるが市として方策はあるか。また使い勝手が良く、地域に開かれた出雲大東駅であってほしいがどのように考えているか。

現在の指定管理者が辞退する意向であるが、建物内に複数の団体が入っている。駅から様々な情報発信できる環境が望ましい。

市長) 現在の指定管理者から辞めたいとの話があり現在公募の手続きを行っている。今後は応募者の審査をすることとなる。これまで様々な取り組みを行い地域の拠点となっていた。新たな管理者にも同じ取り組みを求めている。地域との再構築必要と考え地域の皆様にもご協力を頂きたい。駅の利活用を地域の皆様と良い関係を築き一緒に考えていかなければならない。現在1社の応募があり既に締め切っており選定委員会を今月9月中に行う予定である。

## 幡屋地区振興会

### ○県道玉湯吾妻山線の中遠所地内の道路拡幅工事の早期実現等道路整備について

継続してお願いしているが若い人の定住対策には交通事情の充実が重要である。県道玉湯吾妻山線の中遠所地内は道路幅が狭く車両のすれ違いが困難な箇所があり、利用者も多いことから一刻も早い道路整備を願いたい。

今年度工事が始まっており改良108mの予定、昨年度は延長33m。拡幅工事が全て終了後に舗装されるとのこと。まだまだ期間がかかる。

### ○幡屋交流センター建設について

幡屋交流センター建設は7月にプロポーザルを実施し設計業者が決定した。令和9年4月の建設に向け進められているが、幡屋地区の安全安心と未来を支え地域住民が利用しやすい充実した交流センターとなるよう整備を願いたい。

### ○西赤川公園の効率的な利用について

幡屋地区にある西赤川公園は県道拡張工事により残地を公園化したもの。平成5年11月2日に竣工して以来、環境整備活動として地域住民により(幡屋地区振興会振興部で春と秋、仁和寺地内の自治会11グループで順番に夏)公園の草刈りを年間3回実施して維持してきた。しかし高齢化による担い手不足や自治会の戸数減により継続管理することが困難な状況となっている。特に各自治会で行う草刈り作業が困難な状況である。本来は県が管理すべき公園と思うが、例えば市と一体となり若者が集うことのできるスケートボード練習広場などの整備(コンクリート舗装にすることで管理負担の軽減にもつながる)が行えないか。

市長)

### 県道玉湯吾妻山線の中遠所地内の道路拡幅工事の早期実現等道路整備について

県に対しても早期の完了を度々求めている。今年度は自民党総裁選がある。通常であれば年末くらいには補正予算が決まり事業量が見えてくるが、今年は見通せない。市長会などから国土強靱化5か年計画の次の計画を早く立ててほしいと要望している。まずは予算の確保が大切。引き続き要望していきたい。

### 幡屋交流センター建設について

これから設計を行うが地域の皆さんと十分な議論をし良い交流センターを建設したい。ただ、「箱モノ」は予算をかけることばかりではない。地域の皆さんに使いやすい建物を作りたい。

### 西赤川公園の効率的な利用について

該当地は県道と河川に囲まれており、底地は県の所有である。ご提案にある構造物を造ることは難しいが今後具体的な計画を聞きながら県へ繋ぎたい。

獣被害対策について(サルについて)

鳥獣による農林産物被害状況（鳥獣種別被害額）令和5年度島根県の状況から、イノシシ・シカに次いで被害額が多いのがサルによる被害となっている。佐世地区においても令和6年6月にサルの群れにより収穫間近の農作物（野菜）が地域全体で被害を受けた。地域では対策として、動物駆逐用煙火（追い払い花火）による講習と煙火消費保安手帳（動物駆逐用）の取得を予定している。

しかし継続的な対策を行うためには取得した手帳は毎年保安講習の受講が必要となるなど経費が必要である。雲南市では農作物鳥獣被害防止対策事業補助金により有害鳥獣被害から守るための助成が設けられているが、毎年の講習等への助成等ができないか検討願いたい。

今年、6月頃から突如サルの群れ20～30頭がきた。西阿用地区を荒らし畑の野菜等が全て被害にあった。生育中の芋を抜いてしまうなど。これほどの被害は初。7～8月にかけて佐世中を荒らし回り現在も数頭いる。わが家の庭先にも10数頭来た。幸い畑は大丈夫だったが柿を全て取られた。イノシシ被害もだがサル被害も農業に対する思いが疲弊するのではないかと。地域の対策として動物駆逐用煙火（追い払い花火）の使用を考えているが、専用花火は火力が強く講習を受ける必要がある。佐世でも講習を受け資格を取得し実施することを検討している。講習希望をまとめると希望者が20名程度いた。資格取得に5,500円必要。花火準備には種類があるが4～7万円くらいかかる。イノシシ・サル対策のため地域に継続的に配置することが必要ではないか。

市長）サルの被害は根こそぎで美味しくなると取っていく。農家の方の意欲を奪っていく。

昨年から試験的に大きな檻を仕掛けています。群れ単位での捕獲が可能。一定の効果が認められた。効果と運用が難しく餌の管理の必要がある。サル用檻を広げていこうかという段階。田井地区では捕獲したサルにGPSをつけ行動範囲を分析している。

花火による追い払いは経費もかかるので検討させていただく。ただ花火の効果は限定的。最初は逃げてすぐ戻ってくるようだ。地域おこし協力隊で有害鳥獣対策担当を専任で確保している。しっかり検討を進めたい。

## 阿用地区振興協議会

### ○林道蓮華寺線の落石対策、市道蓮華寺線の改良について

(令和2年9月30日提出)(令和6年7月30日提出) 回答はもらっているがお願いしたい

### ○市道阿用停車場線拡幅改良の残り700m歩行帯の確保について

(令和3年12月23日提出)

令和3年豪雨災害の発生により事業が止まっているのではないかと。現在未実施。

### ○主要地方道玉湯吾妻山線川井峠急カーブ改良工事の再開への後押し(令和5年6月1日提出)

久野地区と一緒に要望を行い雲南県土整備事務所へも行った。交付金事業ではなかなか予算がつかないとのこと。現在は最初のカーブの次のカーブに「矢板」がありそれが取れると進捗すると思っている。

### ○主要地方道玉湯吾妻山線(阿用交流センター付近)について

主要地方道玉湯吾妻山線(阿用交流センター付近)においてカーブが緩やか。直線でスピードを出しカーブにさしかかり、運転操作を誤って対向車線へのはみ出しや歩道へ乗り上げるなどの事故が近年多発している。通学路でもあり重大な人身事故などが起きる前にガードレール等の設置ができないか。県道のため県への申請等必要であれば対応する。

新規の要望であるが「防音壁」があり視距の悪い箇所がある。昨年、スピードを出して縁石へ乗り上げた事故が発生。今年はカーブで追い越しし正面衝突を避け田んぼへ落ちた事故、交流センターの庭へ正面衝突、アパートから出て正面衝突など事故が多発している。ガードレールなど守れるものを設置してほしい。

市長)

林道蓮華寺線の落石対策、市道蓮華寺線の改良について

現在対策を検討中。

市道阿用停車場線拡幅改良の残り700m歩行帯の確保について

令和4年2月に回答しているのが外側線の引き直し。来年度から実施する。

主要地方道玉湯吾妻山線川井峠急カーブ改良工事の再開について

予算はついていますが、着手がないため心配をかけている。早く完了するよう県へ要望していく。

主要地方道玉湯吾妻山線(阿用交流センター付近)について

今日状況を伺った。現地の確認を行い県へ繋ぎたい。その際は協力を願いたい。

## 久野地区振興会

### ○大仁農道土砂崩れ箇所早期復旧について

令和6年6月に大仁農道法面崩壊により塩田～上久野間において全面通行止めとなっている。復旧まで時間を要するとのことだが、地域をはじめ市内外からも利用されている重要な農道であり早期の復旧を望むが、最近令和9年3月に完了と伺ったのでよろしくお願ひしたい。

### ○携帯電話の不感地域の解消について

これまでも市へ携帯電話不感地域の早期解消について伝えている。振興会からも「携帯電話のエリア外地域解消について」(平成30年)要望書について提出しているが、引き続き川井峠付近、上組集落振興会館付近、市道大谷線付近について市として不感地域(微弱エリアも含む)の解消におけた具体的な取り組みを行っていただきたい。まだ3地区の不感地域があり特に川井峠付近は冬季に事故が発生したこともあり早急に対応をお願ひしたい。

### ○県道安来木次線真野谷工区早期完成について

昨年度も話したが安来木次線の整備については期成同盟会にて要望書の提出を行っている。木次から安来までの間信号もなく時間の短縮が図れる道路であるが、久野～日登間において道路幅が狭く車両のすれ違いが困難な箇所もある。完成まであと5年くらいはかかるとのことだが、一刻も早い開通を願ひたい。安来にスマートインターチェンジができるとこの道が直結し重要度が増すのではないか。

### ○かみくの桃源郷における合併浄化槽設置について

かみくの桃源郷は三群山山麓に広がる森林に接し豊かな自然が織り成す風景のなかコテージ宿泊・キャンプ・バーベキュー・水遊びを楽しむことができる体験施設となっている。今年も市内外から多くの方に来場いただいている。しかしトイレは汲み取り式であり衛生的とはいえない状況、これまでも要望書を提出しているが、当施設に合併浄化槽を設置いただきたい。

特にトイレの整備をお願ひしたい。女性客にとっては特に重要。

### ○その他

河川プールの撤去(川の断面を犯し防災上問題ではないか)

旧久野小学校において利用されていた河川プールが設置されているが、現在は使用されておらず土砂が流入している状況。豪雨の場合土砂が堆積し河川の流下能力を低下させる心配あり。洪水被害を未然に防止するために状況確認とプール撤去を行っていただきたい。

市長)

### 大仁農道土砂崩れ箇所早期復旧について

災害査定先週終わった。これから設計に入るところ、周辺の調査を行う必要があり事業は動いている。

### 携帯電話の不感地域の解消について

携帯業者のリストには入っている状況。業者が整備に消極的。様々な新しい技術が研究されている。雲南夢ネットの光ファイバーが通じていれば、電話がつながる特定の事業者サービスもある。

### 県道安来木次線真野谷工区早期完成について

真野谷工区は事業効果を出せるよう要望していく。安来木次線の重要性は認識している。

かみくの桃源郷における合併浄化槽設置について

順次市有施設の整備を行っている。トイレ整備は経費がかかるが効率的な整備ができないか、相談させていただきたい。

河川プールの撤去について

河川プールは市が占有しており市の資産。どのように撤去し川をどのようにするかという難しい課題がある。原状復帰となると市が河川整備をすることになる。調整を行いながら相談させていただきたい。

## 海潮地区振興会

### ○旧海潮中学校の利活用について

8月5日に教育委員会による地区説明会が開催され、後日8月9日の振興会評議員会において旧海潮中学校に海潮小学校を移転することについて了承された。先日令和6年雲南市議会9月定例会での市長の施政方針においても旧海潮中学校の利活用については、早期の移転をめざし、具体的な改修内容等について検討を進めると示された。

また8月の地区説明会では参加者から多くの意見が出され、今後の施設改修等のスケジュールは学校及び地区へのきめ細かな説明等を踏まえ、子どもたちの目線・意見を尊重し進めていただきたい。地域は小学校を中学校へ移転することについて了承した。移転時期について市からは令和8年の夏休み明けとのことだが、できるだけ早期にお願いしたい。

### ○観光資源の整備について

#### 「神楽の宿」について

出雲神楽の振興、観光列車瑞風の立ち寄り箇所になっていることから観光施設として大きな役割を果たしている。しかし経年による建物全体の劣化が著しく修繕が必要となっている。今後どのように対応されるのかについて示していただきたい。

「神楽の宿」では火を焚かないため屋根からゴミや虫が落ちてきたりしている。改修費はラメールほどかからない。改修用の萱は少し確保しているが屋根全部は難しい。今後対応難しければ指定管理も辞退することを考えている。

### ○海潮温泉について

市内にオープンするホテルで当温泉のお湯が利用される。お湯をくみ取る場所での安全が確保できるよう整備し、足湯施設等を設けて観光に繋げてほしいが見解について伺う。三刀屋で開業するホテルへ湯を運ぶとの話だが、海潮温泉は海潮荘1社のみでコロナ禍では非常に経営が苦しかったよう。ここがなくなると海潮温泉は滅びてしまう。なんとか継続できる策はないか。足湯設置の要望を出した、計画を前向きに考えてほしい。

### ○八雲山及び沢池について

地域の観光資源である「八雲山」「沢池」について環境保全活動として周辺の草刈りや遊歩道の整備、管理等について地域での資材調達および作業賃等を捻出し環境整備をおこなっている。継続的に地域の観光資源を守っていくためには地域だけの対応は難しく、市として財政支援をお願いできないか。管理するのに非常に手間がかかっている。10月に緑ネットに手伝ってもらい草刈りも実施しているが財源が不足している。

○その他

市役所部局間の連携や職員の共通認識をとっていただきたい

一例：大雨時等での避難所運営に必要とされる要支援者名簿の意義が、担当職員に任せられており、部内の関係職員（例えば福祉避難所が適当と判断を求められる保健師や他部局健康推進課、こども政策局の障がい児担当）と共有できていないのではと感じる。また防災部と連携できているのか。

一例：市の施策である脱炭素に取り組む姿勢が、担当職員は熱心に学習・研究等されているが、市及び市職員全体のものでなく関心がなさそう。全職員が同じ認識を持たないと感じるがいかがか。

市長)

旧海潮中学校の利活用について

密接に地域とコミュニケーションをとりながら、子どもたちの権利も考えながら進めたい。

神楽の宿について

来年度当初で予算化できないかと思うが3,000万程度かかり施工に2年くらいかかると思われる。市議会にもご理解いただく必要がある。

海潮温泉について

海潮温泉は非常にいい温泉。何とか活用できないかと考えている。行政だけの力で盛り上げるのは難しく、民間での盛り上げ新たな担い手がないか。「有福温泉」の復活が取り上げられている。外の資本のようなきっかけが欲しい。全体としての再興ができないか検討すべき、時間はかかるかもしれないが議論し再興していく必要あり。

八雲山及び沢池での環境保全活動について。

日頃の環境整備について感謝する。どこまで支援できるか、伺った話を担当部局に伝え何ができるか考えたい。

市行政における部局間の連携や職員の共通認識について、

全ての職員が関心を持ち共通認識をもって進むべきと思うが、必ずしもそうではない現実がある。

海潮地区振興会

海潮中学校の利活用について、8月に教育委員会と話し合った後2カ月経つがその後どうなったのか状況を知らせてほしい。地元と話し合う機会を定期的に持ってほしい。

市長) その旨教育委員会へ伝える。予算的な話はすぐ話しができないかもしれないが細かい情報提供を行うようにしたい。

## 塩田地区振興協議会

9月9日の雲南市地域自主組織連絡協議会と市長意見交換会でもお伝えした2035年問題。塩田地区は48戸であったが、現在42戸。人口は100人を切っていることが一番の悩み。

地域の特性・環境・歴史などをいかした『雲南市独自の地域振興策・観光振興策』の提案について

各地域自主組織ごとに手上げ方式で良いので、

①地域学習・生涯学習等の活動をテーマにしたもの

②組織活動・地域維持の活動をテーマにしたもの

①②をテーマにしたもので『受け入れプラン・カリキュラム・経費』（受け入れプランについては、観光型・学習活動・ものづくり・体験等）を計画し市内自主組織の相互交流や、地域間でのグループ、個人での交流につなげてはと考える。併せて地区外からの視察交流活動などに結びつけてはと考える。（持続可能で負担の少ないもの、随時受け入れが可能なものを想定している。）

経費については、訪問する側の組織・グループ・個人の負担を想定しているが、受入実績や訪問実績に応じて活動を実施した組織へ補助金を出す仕組みとしてはと考える。（補助金の経費は、活動の維持・パンフレット作り・看板設置費用・報償費などに活用できるなど）市内自主組織同士で交流でき、似たような環境・運営形態の組織との相互交流・交流人口の拡大につながればと思う。今まで実施された『事例共有』などを参考に受け入れプランの発案も可。地元の方が、案内してくれる観光を含めたプランなども想定する。

担い手育成事業を活用した事業が進められない。取り組みにくい。今できることは何か考えた。相互に交流しながら、お互いの情報共有しながら担い手育成事業の次の事業に取り組めないか。担い手育成事業から予算を確保し事業を行う仕組みづくりができないか。各地域同士が受け入れ案を作成してはどうか。

市長）人口の減少について

地域で住もうと思う人を確保していくことしかできない。どのように外から来てもらうかどうやって増やすか。来られた方をどう受け入れるか、地域ごとに状況は違うとは思いますが、地元での寛容性が必要となっている。様々な取り組みを行い一人でも帰ってきてもらえれば。

戸数が減った中で共助・自助をどうしていくのかという観点を持って取り組んでいく必要あり。担当部署へ提案について伝えたい。様々な取り組みをしながら活性化していきたい。

## 幡屋地区振興会

米が不足していると聞いていると思うが、どのような対策を考えているか。加茂や出雲でも米がない。

市長）メディアが言っているのは、スーパーで売っている安いコメがないということ。

冷静に対応するべき。生産地域にとってはいい値段で買っていただけたのは良いとは思いますが、市場経済の原理の中で落ち着くのではないかと。スーパーにはないが米屋にはある。

## 春殖地区振興協議会

サギ被害の対策を地域おこし協力隊員が色々取り組んでいたが、成果に乏しい。

市 長) サギの対策去年は花火、ドローン、レーザーなど様々なことを試した。今のところ青色レーザーが一番効果ありそう。来年度以降山頂の方への追い払いを考えたい。完全に追い出すと次は違う場所に行くのかということもある。山奥への追い払いを考えている。しばらくお時間を頂きたい。個体数の管理も必要。駆除の仕方も研究中。巣の中にドライアイスを入れる(卵の孵化を防ぐ)など試行錯誤している。今後よりよい方法を見付けたい。

16:35 終了